

環境紙芝居・絵本センター蔵書リスト

題名	著者・出版社等	内容
わたしのひかり	作・絵：モリー・バング 訳：さくま ゆみこ 出版社：評論社	きらきら光る町のあかり、あのあかりも、もともとはわたし(太陽)のひかりなのです。一人間がどのようにして電気を手に入れているかを語る絵本。さまざまな発電方法の短所と長所も解説しています。
ホッキョクグマくん、だいじょうぶ？～北極の氷はなぜとける	ロバート・E. ウェルズ (著), Robert E. Wells (原著), せな あいこ (翻訳)	北極の氷がとけてホッキョクグマが困っているんだって？ どうしてそんなことが起きるの？ 地球温暖化について学ぶ科学絵本。
わたしがぼくが ちきゅうのためにできる10のこと	作：メラニー・ウォルシュ 訳：山本 和子 出版社：チャイルド本社	イギリス生まれのグローバルなエコ育絵本 英・米・独・伊・韓国など世界19か国同時刊行！！ 世界中の人たちといっしょに さあ、今すぐ始めよう、 わたしたちのできるエコ！ 提案します！地球のためにできる10のこと。 なぜかっていうとね…わたし(ぼく)は地球が大好きだから！
ほっきょくがとけちゃう！ サンタからのSOS	イーサン・キム マツダ (著), マイケル マツダ (著), ヴァネッサ ラム (イラスト), & 4 その他	ほっきょくにある、サンタのおもちゃ工場がしずみはじめたって!? みんなのクリスマスプレゼントがだいなしになっちゃう! しまったサンタは、ほっきょくのおりがとけたげんいんをさがしに、トナカイのそりにのってでかけますが…。「地球温暖化」についてみんなで考えたくて、アメリカの8さいの男の子がつくった絵本です。
ぼくたち・わたしたちの地球温暖化問題 今日からはじめる地球の守りかた	ローリー デビッド (著), カンプリア ゴードン (著)	世界中の子どもたちに贈る、地球温暖化読本 大ヒット映画「不都合な真実」映画版の制作プロデューサーによる、子どもたちに贈る地球温暖化問題の本です。 オールカラーの写真やイラストを数多く使い、地球温暖化問題の現象やしきみをわかりやすく解説します。
そらべあ	作：エコロジーオンライン 絵：かとうしんじ 出版社：エムオン・エンタテインメント	この涙を止められるのは、あなたです。 ホッキョクグマの兄弟「そら」と「べあ」はとても悲しいのです。知らないうちに自分たちをとりまく自然が変化し、おかあさんグマと離ればなれになってしまったのです…。 この絵本は、地球のあらゆる生命に被害をもたらす温暖化の深刻さを、たくさんの方に伝えるために生まれました。 みなさんも「そらべあ」とともに、地球と生命の未来を守るためにでかけてみませんか！
そらべあ はじめてのだいぼうけん	作・絵：Shinzi Katoh 出版社：岩崎書店	子どもたちへの環境教育活動を行うNPO法人「そらべあ基金」のシンボルキャラクター、「そら」と「べあ」が主人公。 この絵本は、地球温暖化で北極の氷がとけだしていること、氷がとければ、生き物の暮らしが変わってしまうことを、そらとべあの物語にかたちをかえて教えてくれます。 ホッキョクグマのそらとべあは、はなればなれになったお母さんに、いつか会えるのでしょうか。 ふたりの長い旅は、はじまったばかり…。 カトウシンジさんが描くかわいい絵柄とストーリーは、とても読みやすく、地球環境のことを子どもと考える、いいきっかけになりそうな絵本です。
ホッキョクグマのウィンストン 地球温暖化に立ち向かう、あるホッキョクグマの闘い	ジーン デービス オキモト (著), ジェレミア トレメル (イラスト), 千葉 茂樹 (翻訳)	温暖化で困るのは人間だけじゃない! 勇敢で、強い、ホッキョクグマのリーダー・ウィンストンが、温暖化を食い止めるために仲間たちと立ち上がった。 子どもと一緒に考える温暖化問題。全米で話題の絵本。

ツバル 海拔1メートルの島国、その自然と暮らし	遠藤 秀一 (著)	地球温暖化のために百年もしないうちに沈んでしまう危機にさらされる「ツバル」という国の自然や生活を紹介。共に環境を考える本。
地球温暖化、しずみゆく楽園 ツバル	小学館	ツバルは、地球の未来の姿そのものなのです。
100年後の地球	木元 教子 (著), 谷口 周郎 (イラスト)	美しく豊かな地球、自由で平和な世界を私たちは望んでいます。でも、いまま地球の上では、争いがあり、破壊があり、病気もあります。私たちがエネルギーを消費することによって、地球の環境は、どんどん悪化しています。21世紀、この地球で私たちはどう生きようとしているのでしょうか。本書は、いつのまにか、地球に影響を与えているエネルギーを見つめた絵本です。
やりくりーぜちゃんと地球のまちづくり	日建設計総合研究所(NSRI)=作・画 (著)	15歳までに読んでおきたい“エコ絵本” ニュースや新聞の報道でも、ますます重要度が増す環境問題。知っているつもりだけど、じつはいまいち理解できないことも。 快活な少女やりくりーぜちゃんといっしょに、地球温暖化のメカニズム、ふだんの生活の見直し、建物のくふうやこれからのまちづくりについて考えていきます。 地球環境の現実と対策をわかりやすく伝える“エコ絵本”です。
サンゴがたいへんだ！ うみの森がなくなっちゃう	作：さわ みつはる 絵：つつみ きよし 出版社：さんこう社	「えっちゃんとシロのぼうけん」シリーズ『ちきゅうがたいへんだ！』『シロクマのおやこ』につづく地球の生物を守る絵本の3冊目。今回は海の中の環境破壊がテーマです。 地球温暖化のため海水の温度が上昇して、海の宝であるサンゴが大量に死んでいます。 このまま地球温暖化を放置すれば、地球の生物はどんどん減っていきます。 子どもたちが、これからも安心して生きていく、地球にするためには、何をしたらいいか、絵本を通してみんなで一緒に考えてみたいと思います。 この絵本には、サンゴの美しい姿と白化により減んでいく姿を撮った写真も掲載しています。
おほしさま、きえちゃった	作：ハンナ・カミング 訳：今井なぎさ 出版社：コスモピア	●お星様はなぜ消えたの？ どこに行ったの？ ビルにはまぶしいほど灯りがともし、道路は自動車のヘッドライトの行列。人々は歩きながらもスマートフォンや携帯端末に夢中。どこもかしこも光と音の洪水で、ひたすら騒がしかった。 お星様は毎晩、空に昇ってお仕事。きらきら輝くのが誇らしかった。でも、だんだんいやになってきた……。いつのまにか見えなくなっていた美しい星空や、有限である地球資源へのかかわりかたについて、立ち止まって考える時間をくれる絵本です。
えっちゃんとシロのぼうけん シロクマのおやこ	作・絵：澤光晴 出版社：さんこう社	えっちゃんとシロは北極へ。 そこではシロクマのおやこが大変な目にあっていた。 著者の環境問題への真摯な訴えは、まだまだつづく。
ちきゅうはみんなのいえ	作：リンダ・グレイザー 絵：エリサ・クレヴェン 訳：加島葵 出版社：くもん出版	喉の渇きを潤す水、草木の生長を助ける雨、あたたかな光をもたらす太陽、命を育てる土……。豊かな自然に恵まれた地球は、決して人間だけのものではなく、ともに生きるみんなのもの。まるで子守歌のような、リンダ・グレイザーによる柔らかな言葉と生命力あふれるエリサ・クレヴェンの絵が伝える、喜びと幸せに満ちた地球の詩。子どもたちは、生まれながらに自然の美しさや生物の神秘に驚き、感動する感性を持っています。子どもたちの心に、お父さんお母さんの声で届けたいメッセージです。